

レーザー計測開発加速

徳島大発SL&PS 500万円調達

非接触型

徳島大学発のスタートアップ、スマートレーザー&プラズマシステムズ（SL&PS、徳島市）は、阿波銀行系の投資フ

アンドなどから計5000万円の融資を受けたと発表した。

SL&PSは徳島大学教授の出口祥啓代表が2018年に設立した。調

達した資金で技術開発を加速していく。

同社はレーザー光を使

ってエンジン内部の気体の温度や濃度を計測したり、金属表面の元素の組成をリアルタイムで計測したりできる装置を開発している。各種エンジンや発電用ボイラーの開

発、工場の自動操業などにつながる先端技術を手がける。

今回、阿波銀と徳島大が連携して運営する産学連携キャピタル（徳島市）や、日本ベンチャーキャピタル（東京・千代田）などが第三者割当増資を引き受けた。